

事業名	アオノリ養殖概況
予算区分	県単
事業実施期間	平成12年度～
担当者	(環境増養殖担当) 岡本裕太
共同研究機関等	

<目的>

本県のスジアオノリ養殖業の生産状況を把握する。

<方法>

漁業者から生産状況について聞き取り調査を行うとともに、徳島県漁業協同組合連合会における共同販売実績を整理した。

<結果>

天然採苗は10月中旬～下旬に行われ、例年と比較して1週間程遅れたが、採苗は概ね順調に行われた。本養殖開始後、11月中の生産には至らなかったものの、漁場によっては12月後半から比較的順調に生長し、まとまった生産となった。色調および生長については、良好な状態が続き、2月末に終漁した。

令和5年度漁期の生産枚数は、58,482 kgで、前年と比較して128%と増加したものの、甲殻類や貝類など付着物の影響で平均単価が5,979円/kgと前年比80.5%と下落した。

<今後の課題>

スジアオノリ漁場における調査で得た環境データと漁場ごとの生産状況から不作の原因を検討する必要がある。

<次年度の計画>

引き続き、生産状況の把握に努める。

<結果の発表・活用状況等>

特になし

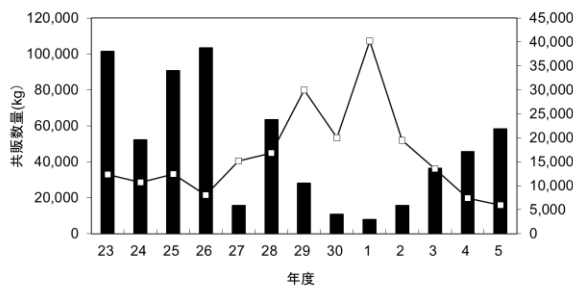


図1. 年度別共販数量と平均単価の推移

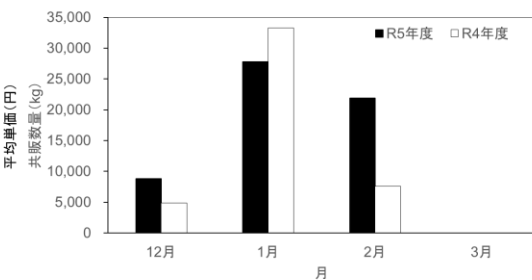


図2. 共販数量の経月変化